

『数学科』の進級基準

静岡大学理学部 教務委員会

本学部では、学生諸君が進学や就職活動そして卒業に支障を来さないよう、早い段階から単位の取得状況を保護者の皆さんに把握していただきたく、学生諸君の保証人（保護者）あてに、現時点の「成績通知表」をお送りすることとしております。次頁の『卒業所要単位表』とともに、以下に各学科の進級基準の概要を示します。なお、「成績通知表」の内容に関する詳細は、学生本人に直接お聞きください。

※ 卒業に必要な単位数は、124単位です。

※（平成30年度（2018年度）入学者）

「卒業所要単位表」で定める卒業要件のほかに、学生の就職活動や進学準備に際して支障の生じないように、4年次への進級基準を以下のように設けています。

3年次終了時においてこの進級条件が満たされないと、4年次に進級できず、「数学卒業講究」などの4年次指定の科目を受講することはできません。

<4年次への進級基準>

3年次終了時において、在学期間が2年6ヶ月を超え、取得単位数に関する次の5つの不等式をすべて満たすこと。

$$A \geq 34, B \geq 20, A + C \geq 46, D \geq 6, S \geq 93$$

A＝必修学科専門科目の取得済み単位数

B＝教養科目の取得済み単位数

C＝選択学科専門科目の取得済み単位数

（ただし創造理学コース所属の者に限り、創造理学コース科目（選択）を6単位まで加えることができる）

D＝理系基礎科目の取得済み単位数

S＝卒業所要単位124のうちの取得済み総単位数

『物理学科』の進級基準

静岡大学理学部 教務委員会

本学部では、学生諸君が進学や就職活動そして卒業に支障を来さないよう、早い段階から単位の取得状況を保護者の皆さんに把握していただきたく、学生諸君の保証人（保護者）あてに、現時点の「成績通知表」をお送りすることとしております。次頁の『卒業所要単位表』とともに、以下に各学科の進級基準の概要を示します。なお、「成績通知表」の内容に関する詳細は、学生本人に直接お聞きください。

※ 卒業に必要な単位数は、124単位です。

※（平成30年度（2018年度）入学者）

4年次に進級するためには、次の全ての条件を満たしていることが必要です。

1. 「物理学実験」（理系基礎科目）、「物理学実験Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ」の単位を修得していること
2. 3年次までの必修の学科専門科目46単位のうち、40単位以上を修得していること
3. 卒業要件である理系基礎科目21単位のうち、17単位以上を修得していること
4. 教養科目22単位以上を修得していること

『 化 学 科 』 の 進 級 基 準

静岡大学理学部 教務委員会

本学部では、学生諸君が進学や就職活動そして卒業に支障を来さないよう、早い段階から単位の取得状況を保護者の皆さんに把握していただきたく、学生諸君の保証人（保護者）あてに、現時点の「成績通知表」をお送りすることとしております。次頁の『卒業所要単位表』とともに、以下に各学科の進級基準の概要を示します。なお、「成績通知表」の内容に関する詳細は、学生本人に直接お聞きください。

※ 卒業に必要な単位数は、124単位です。

※（平成30年度（2018年度）入学者）

【3年次進級の基準】 2年次終了時に以下の条件を全て満たすこと。

- ◎卒業要件として認められる科目の単位を72単位以上修得していること
- ◎学科専門科目（必修と選択）の単位を合計24単位以上修得していること
- ◎「化学実験」の単位を修得していること

【4年次進級の基準】 3年次終了時に以下の条件を全て満たすこと。

- ◎卒業要件として認められる科目の単位を110単位以上修得していること
- ◎必修の外国語（英語と初修外国語）の単位を3単位すべて修得していること
- ◎必修の学科専門科目の単位を30単位以上修得していること
- ◎選択の学科専門科目の単位を17単位以上修得していること
- ◎「分析化学実験」，「有機化学実験」，「物理化学実験」，「生化学実験」の単位をすべて修得していること

『 生物科学科 』 の 進 級 基 準

静岡大学理学部 教務委員会

本学部では、学生諸君が進学や就職活動そして卒業に支障を来さないよう、早い段階から単位の取得状況を保護者の皆さんに把握していただきたく、学生諸君の保証人（保護者）あてに、現時点の「成績通知表」をお送りすることとしております。次頁の『卒業所要単位表』とともに、以下に各学科の進級基準の概要を示します。なお、「成績通知表」の内容に関する詳細は、学生本人に直接お聞きください。

※ 卒業に必要な単位数は、124単位です。

※（平成30年度（2018年度）入学者）

3年次から4年次に進級するためには、次の2つの条件を満たしていることが必要です。

1. 卒業要件として認められる科目の単位を104単位以上修得していること。
2. 「生物学実験」、「生物科学基礎実験」、「生化学基礎実験」、「生物科学総合実験Ⅰ」、「生物科学総合実験Ⅱ」の単位をすべて修得していること

『 地球科学科 』 の 進 級 基 準

静岡大学理学部 教務委員会

本学部では、学生諸君が進学や就職活動そして卒業に支障を来さないよう、早い段階から単位の取得状況を保護者の皆さんに把握していただきたく、学生諸君の保証人（保護者）あてに、現時点の「成績通知表」をお送りすることとしております。次頁の『卒業所要単位表』とともに、以下に各学科の進級基準の概要を示します。なお、「成績通知表」の内容に関する詳細は、学生本人に直接お聞きください。

※ 卒業に必要な単位数は、124単位です。

※（平成30年度（2018年度）入学者）

2年次への進級は、1年次終了時に卒業単位を33単位以上修得していること

3年次への進級は、2年次終了時に次の条件をすべて満たすこと

- 1) 卒業要件として認められる科目の単位を65単位以上修得していること
- 2) 「地球科学野外実習Ⅰ」の単位を修得していること

卒業所要単位表
（創造理学コース及びABP留学生コースを除く。）

科 目 区 分				数 学 科	物理学科	化 学 科	生物科学科	地球科学科	
必修	専門科目	学科専門科目		46	52	44	37	45	
		理系基礎科目		0	9	9	12	11	
	教養科目	基軸教育科目	英語	2	2	2	2	2	
			初修外国語	1	1	1	1	1	
			キャリア形成科目	1	1	1	1	1	
		現代教養科目	個別分野科目	8	8	8	8	8	
			学際科目	4	4	4	4	4	
	小 計			62	77	69	65	72	
	選択	専門科目	学科専門科目		24	12	21	24	20
理系基礎科目			12	12	8	10	10		
教養科目*		基軸教育科目	学部指定履修科目	英語	2	2	2	2	2
				新入生セミナー	1	1	1	1	1
				情報処理	2	2	2	2	2
				健康体育	2	2	2	2	2
				その他 **	4	4	4	4	4
		個別分野科目							
		学際科目							
小 計			47	35	40	45	41		
自由科目	学科専門科目（他学部、他学科の専門科目を含む）、理系基礎科目、教養科目から選択履修すること。***			15	12	15	14	11	
合 計（卒業単位数）				124	124	124	124	124	

* 教員免許状取得希望者は、教養科目教職等資格科目の教職教養科目を取得しなければならない。取得した教職教養科目の6単位は、卒業要件である選択の教養科目11単位に含まれる。

** 選択の基軸教育科目のその他は、英語（選択）、初修外国語（選択）からなる。

*** 自由科目として認められる科目の詳細は別に定める。

科 目 区 分			数 学 科	物理学科	化 学 科	生物科学科	地球科学科		
必修	専門科目	学科専門科目		40	46	38	31	39	
		理系基礎科目		0	9	9	12	11	
		創造理学コース科目		10	10	10	10	10	
	教養科目	基軸教育科目	英語	2	2	2	2	2	
			初修外国語	1	1	1	1	1	
			キャリア形成科目	1	1	1	1	1	
		現代教養科目	個別分野科目	8	8	8	8	8	
			学際科目	4	4	4	4	4	
	小 計			66	81	73	69	76	
	選択	専門科目	学科専門科目		24	12	19	24	20
理系基礎科目			12	12	8	10	6		
創造理学コース科目			6	6	6	6	6		
教養科目*		基軸教育科目	学部指定履修科目	英語	2	2	2	2	2
				新入生セミナー	1	1	1	1	1
				情報処理	2	2	2	2	2
				健康体育	2	2	2	2	2
			その他**						
		現代教養科目	個別分野科目	4	4	4	4	4	
			学際科目						
小 計			53	41	44	51	43		
自由科目	学科専門科目（他学部、他学科の専門科目を含む）、理系基礎科目、創造理学コース科目、教養科目から選択履修すること。***			5	2	7	4	5	
合 計（卒業単位数）				124	124	124	124	124	

* 教員免許状取得希望者は、教養科目教職等資格科目の教職教養科目を取得しなければならない。取得した教職教養科目の6単位は、卒業要件である選択の教養科目11単位に含まれる。

** 選択の基軸教育科目のその他は、英語（選択）、初修外国語（選択）らなる。

*** 自由科目として認められる科目の詳細は別に定める。